

飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

HIYAKU

第260号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2007年11月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・杉一郎

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate thy thought in thy early days

若き日に汝の体躯を養え

Make thy body vigorous in thy early days

若き日に汝の智能を磨け

Improve thy wisdom in thy early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Chain thy hope to the stars in thy early days

TOP*NEWS

中等部 初めての体育祭と建学祭

第43回 建学祭「一期一会」

来校者過去最高の6,156名



この門を6,156名が通りました



学習発表、是非ご覧ください!



中等部、初めての合唱祭

体育祭開催



体育祭実行委員長 鈴木 勝利

3年4組 目黒区立第九中学校出身

今年の体育祭は、雨により2度延期になり、3度目で晴れて開催することができました。昨年と違って、中等部はじめて参加し、また女子の色別リレーも取り入れたので、内容の濃い、そして思い出に残る体育祭になったと思います。最後のプログラムの色別リレーの決勝では、応援も盛り上がっていました。どの競技もみんなが一生懸命頑張っていたのがよかったです。

今回の体育祭も昨年と同様に、部活動の人たちが、グラウンドの整備や次の競技の準備を下さり、スムーズに競技を行うことができました。みんなが楽しく過ごせるように協力して下さいましたみなさんに感謝しています。ありがとうございました。来年は、今年以上に盛り上がってくれることを期待しています。



選手宣誓

「僕たちはルールに則り、正々堂々と闘うことを誓います」と声高らかに宣誓!!



準備体操

女子バレー部のリードで準備体操



玉入れ

中等部から高校3年生まで全学年参加の競技



綱引き

油断大敵。1本でも多く敵陣に引っ張り込む!



大縄跳び

全員でタイミングを合わせてジャンプ!!



障害物競走

ジュースの早飲み。味わってなんかいられない!!



大玉ころがし(中等部)

大玉相手に大奮闘。まっすぐに進みましたか?



大玉送り

紅白の大玉を落とさなくて送る。あー落ちるう〜



リレー(中等部)

いつもは仲良しだけど、今日はライバル!!真剣勝負よ!



台風の日

足並み揃えて全力疾走



リレー(高校)

チームの勝敗をかけて、力の限り走り去る

高校の結果
優勝 赤組
準優勝 白組
第3位 オレンジ組・青組

	3年(クラス)	2年(クラス)	1年(クラス)
赤	4組・8組	1組・5組	1組
オレンジ	5組	2組・6組	2組・8組
黄	6組・10組	3組・7組	3組
緑	1組・7組	4組	4組・9組
青	2組・9組	8組・9組	5組
白	3組	10組・11組	6組・7組

中等部の結果
第1位 赤組(A組)
第2位 白組(B組)

建学祭開催



大成功の建学祭

建学祭実行委員長 榎本 耕二 3年10組 松戸市立第三中学校出身

今年の建学祭の来場者数は昨年を大きく上回る6,156人でした。これは天候に恵まれたことはもちろん生徒一人ひとりの頑張りの結果だと思えます。また、中等部初めての合唱祭は大盛況に終わり、例年通り行われた英語スピーチコンテスト、日本語ディベートコンテスト、英語ディベートコンテストも盛り上がりました。

2度目になる知財グランプリでは評価をつけるのに迷うほど、どの団体も工夫がなされていて建学祭が良い方向になっているのを感じました。昨年のテーマ「COLORS」は引き継がれ各団体が個性あるものを展覧し、今年のテーマである「一期一会」ではみんなが建学祭を大事にしてお互いに協力しているように思えました。協力して下さった皆様に感謝申し上げます。

英語スピーチコンテスト

2億年後の地球、それは…

戸張 翔太

1年6組 目黒区立第十中学校出身

私が出会った一冊の本。「フューチャー・イズ・ワイルド」。この本には、空想ではなく科学者達が2億年後の地球で最も知性のある生物が、イカの子孫であると書いてありました。そしてその原因が、地球温暖化による自然環境破壊による人類滅亡だと書いてありました。実際、世界中で地球温暖化による異常気象が続いており、年々被害が大きくなっているのです。

私は、皆が少しでも関心を示してくれるよう、この本と地球温暖化についてスピーチしようと思いました。しかし、英語での表現方法は難しくネイティブの先生方のご指導のおかげで優勝することができました。ありがとうございました。



英語スピーチコンテストに出場した皆さん



優勝した2年11組のメンバー

日本語ディベート大会 2年11組優勝

●日本語ディベート大会論題●

「東京都は2016年にオリンピックを誘致すべきである。是か非か」

連帯感が勝利へ

佐藤 良介

2年11組 江戸川区立清新第一中学校出身

「オリンピック誘致」というテーマで肯定側になり、私たちは不安で一杯でしたが「やるからには勝とう」という意識のもと、全員がそれぞれ自分のできる限りのことをやり、連帯して準備を進めました。私たちは全員がそれぞれに忙しかったのですが、誰かに任せきりにせず自分ができることは、みんなのために全力を尽くそうという連帯感を全員が持っていたと思います。

結果としてその気持ちが私たちが優勝へと導いてくれたのだと思います。そして、このメンバーと一緒に最後まで諦めずに頑張れたことが、ディベートでの一番の思い出となりました。

英語ディベート大会 3年6組優勝

●英語ディベート大会論題●

"Japanese High Schools Should Have English as An Elective Subject"

全力を尽くす連帯感

島田 静恵

3年6組 品川区立戸越台中学校出身

私たち6組のメンバーはとても個性的でした。決してみんながみんな流暢な英語が話せるというわけではなく、今回のディベートではそれぞれの長所を生かし、優勝という最高の賞をいただけたと思っています。部活動などで全員がそろって集まれる時間はほぼ無い中で、一人一人が出来る限りのことをしてきたからついでに結果だと思えます。

この経験で、私たちが学んだことは単に英語の重要性などではなく、どれだけ夢中になれるものを見つけられるかだと思います。ディベートに参加してみんなと一緒に「やるからには優勝」という目標を達成でき、本当に胸がいっぱいの想いです。



英語によるディベートの様子

2007年度 第2回知財グランプリ結果

今年の建学祭は例年以上に企画、装飾などで面白い、ユニークな取り組みがみられたと思います。どのクラスの企画も素晴らしく、審査員も苦勞しました。実際に審査結果も大差はなく、どこのクラスが賞をとってもおかしくない状況でした。

グランプリ 3年8組 相馬屋

ラーメンは本校の建学祭史上初めてだそうです。ポスター、内容、取り組み、装飾すべてにおいて高い評価を得ました。



宮田 栞 3年8組 北区立岩淵中学校出身

私たち3年生にとっての最後の建学祭。どのクラスも今まで以上に気合いの入った店ばかりでした。その中で、3年8組では前代未聞のラーメンに挑戦することになりました。どこから準備を始めればいいのか、どのくらいの費用がかかるのか、全くわからないままのスタートでしたが、担任の工藤先生と放課後何度も話し合いを重ね、建学祭準備期間前に大体のめどをつけることができました。装

飾では、看板のキャッチコピーと、のれんに力を入れました。装飾も買い出しも、クラスが協力してできたことに驚きました。そして、いつもはまとまりのないクラスでも、やる時はやる人ばかりで嬉しかったです。当日、不安も多かったですが、みんなの協力があったから成功することができました。結果、知財グランプリをもらうことができ、最高の思い出を残せてよかったと思います。

準グランプリ とくせいはおつーすいぎょうざ 3年10組 特製好吃水餃子

水餃子という珍しい食品に取り組み、多数のお客様から好評を得たことに加え、装飾も中華風に店をアレンジするなど工夫がみられました。

2年5組 巨大ジェンガ

巨大なジェンガを作成し、来場者が実際に体験できるなど今までにはないアイデアでした。



また今年度よりポスター部門を設け、各クラスから完成度の高いポスターが作られました。特に3年5組、1年8組のポスターが高い評価を受けました。今後も建学祭がより充実したものになればと思います。

2007年度学校運営方針⑤

文部科学省から2004年度に採用されたSSH活動も、2006年度でその指定期間を終えました。今年度、「数学と理科の魅力を実感させて、理工系分野へ進学させ、国際性を備えた人材育成をはかる高大接続を考えた一貫教育プログラムの研究開発を行い、また、社会とのつながり、男女共同参画を推進する学校教育・学習のための、連携・企画・評価・交流・成果普及等の手法に関する研究開発」を課題として、あらためて5年間の新規指定が認められました。

また、東海大学が文部科学省から平成18年度より「女子中高生理系進路選択支援事業」に採択され、本校も学園から「女子理工系進学モデル校」に指定され、女子中高生の科学技術分野に対する興味・関心を喚起し、理系への進路選択を支援する研究を推進することとなりました。



ブリティッシュ・カウンシルの外国人講師による音についての講義(1年SSHクラス)

全教科によるSSH活動への積極的な取り組みを推進する。

- ①文部科学省SSH指定校としての3年間を終え、新たなる5年間の活動を開始するにあたり、短期目標および長期目標を設定し、より充実したSSH活動を推進する。
- ②第3学年SSHクラスでは、「課題研究(卒業研究)」の授業において、第2学年SSHクラスでは、「課題実験」の授業において、より発展的な探求活動を目指す。
- ③全教科が連携した本校独自のプログラム「科学倫理」のさらなる充実を図る。
- ④数学においては、理科の授業がスムーズに行われるよう連携し、新たなカリキュラムの構築を行う。
- ⑤本校中等部、および近隣の中学校、高等学校との連携をはかり、成果の普及に努める。

女子理工系進学モデル校としての研究を推進する。

女子理工系進学モデル校として、女子生徒が理工系学部・学科への興味関心を高めるような教科指導や進路指導の研究を推進し、その成果を各付属校に発信する。

学年の様子

中等部 1学年

中等部では期末試験後、写生大会、建学祭と行事が続きました。

9月21日、残暑がまだぬぐいきれず、気温30℃を超えるという秋晴れの中「写生大会」を行いました。場所は港区にある芝公園です。ここは平成18年度に本格整備をしたということで、災害用マンホールトイレ、雨水貯留槽や太陽光発電機による照明施設や時計等が配置されている過ごしやすい公園となっています。都会にいながら周辺には緑も多く、真上を見上げればビルに邪魔されずにきれいな青空だけを見ることができます。また、東京を代表する東京タワーもちょうどよい大きさで見えます。さんさんと降り注ぐ日光、ふわりとやさしく漂う緑の香り、そしてふかふかと柔らかい芝。普段の学校生活では味わえない感覚に喜びながら、どの生徒も友達とともに伸び伸びと写生を楽しんでいました。



建学祭の準備の様子(中等部)

また、10月6日・7日の建学祭では「合唱祭」と「学年学習発表会」を行いました。「合唱祭」では、クラスごとに何度も練習を重ね、当初はなかなか声が出なかったものの次第に大きな声で歌えるようになり、本番では大勢の保護者の方の前で臆することなく歌声を披露することができました。また、「学年学習発表会」では、書写や美術の作品展示、社会科の「アド街っく20」や国語の「紙芝居」などの展示を行い、生徒が当番で作品説明をするなどして、多くのお客様に喜んでいただきました。

高校 1学年

9月14日(金)から20日(木)まで前期の期末試験が行われました。1年生にとって夏休み明け早々に試験があるのは初めてのことであり、多少戸惑いもあったかも知れませんが生徒たちは集中して試験に臨んでいました。試験結果はどの教科も期待以上であり、平均点も高いものでした。本校では、前期の家庭通知表は原則として保護者会で保護者の方に手渡しすることになっております。今回も多くの方々にご参加頂いて明るく和やかに楽しい保護者会を開くこと

ことができました。また、クラス毎に懇談会等も行われ、担任を囲んで楽しい時間を過ごすことができました。その席上、家庭通知表をお配りすると一種独特の雰囲気になったと話す担任もいました。その家庭通知表で、成績のいいことはもちろんのことですが、今年の1年生で特筆することは精皆勤率の高さです。8割を超えたところが3クラスもあり、学年平均でも75パーセントを超えていました。遅刻や早退・欠席をしないことは、それだけでも十分素晴らしいことです。後期も前期以上に遅刻や欠席が少なくなることを願っております。

高校 2学年

肌の日焼けもすっかり薄れ、街中は秋の絵の具で足早に染め上げられているなか、生徒諸君にとっては、保護者面談を通して進路選択がいよいよ現実的色彩を帯びてきたことと思います。

少々前の話になりますが、2年生は夏季休業中の課題のひとつに『学部学科レポート』なるものがありました。これは卒業後の進路先決定のため、一人ひとりが課題を完成させることで、自身の進路先を考えるということになっています。

夏休み中に、縁あって海洋学部の体験留学に参加する機会に恵まれたので、この場を借りて、報告させていただきます。

本校からは2年生の2名を含む7名の生徒諸君が清水校舎

に足を運び、海洋学部が何たるかの一部を学んできました。いささか俗な言い方をすると、「お金」と「時間」をかけての体験留学だけに、参加生徒は普段経験できない珍しいメニューを真剣にこなしていたように思います。夕食時には、海洋学部側の粋な計らいで付属高等学校卒業生6名を招待してのBBQが用意されており、現役大学生から貴重な最新情報を入手できたことが、この体験留学のメインイベントであったかもしれません。

海洋学部という、やや特殊な学問領域であるだけに、実際に清水校舎まで行き、海を見て、ボートに乗り、魚を観察することは本当に良い経験であったでしょう。

多くの生徒諸君が進路選択のために、日夜、大いに悩んでほしいものです。

高校 3学年

3年生にとっては、高校生活最後の二大イベントとなる建学祭と体育祭が先日終了しました。期末試験そして前期の成績発表と、緊張感が続いた9月後半を経て、建学祭はバタバタとした状況の中で準備して進めたクラスも多かった

と思います。そんな中、全クラスが参加し、準備は短期間でも本番に照準を合わせ、力も最大限に発揮できる術は、さすが3年生と思えました。模擬店・展示でそれぞれのクラスがカラーを出し、大盛況・大好評に終わったのではないでしょ

うか。また、英語によるディベート大会は3組と6組が白熱した試合を展開し、接戦の末6組が勝利しました。そして、各文化部・同好会やダンス部、3年女子によるソーラン節など、日頃の練習の成果を存分に発揮できていたように感じます。お疲れ様でした。

体育祭では色別に分かれての競技でしたが、各クラスとも競技・応援に熱くなり、楽しんでいただきたいと思います。

これらの行事が、いつまでも良い思い出として残ることを期待します。

SSH活動報告

『科学倫理』はSSH活動最大の特色の一つとして設けられた本校独自の科目です。最先端の科学、科学技術を学習・研究するだけでなく、3年間のSSH活動の締めくくりとして、科学と人間の関わりについてその歴史と現状を学び、直面するさまざまな問題についての理解を深めるとともに、これからの科学の進むべき方向と、自分自身の科学への取り組み方を考えることをねらいとしています。「科学技術の平和利用」・「環境倫理」・「生命倫理」の各分野から生徒の声を紹介します。

科学技術の平和利用

松木 彩

3年10組 川崎市立富士見中学校出身

科学倫理の授業では、生命、環境、科学技術の利用など、いろんな方面から科学をとらえてきました。普段は気にもとめなかったことが授業で取り上げられて、これからの科学技術のありかたなどを学びました。

とくに興味深かったのは科学技術の利用についてです。その授業では軍事用の科学技術を民生用に利用したものがたくさんあることを知りました。たとえばインターネットやボールペン、原子力発電などです。毎日のように使っているインターネットやボールペンが軍用だったと知ったときは大変驚きました。また、授業の一環としてグループを作って夏休みを利用し、技術館などを見学しました。軍事技術を民生用に利用するにはさまざまな工夫をし、安全にする必要があることがわかりました。

前期の授業を終えて、科学技術は使う側の考えで用途を変えられるので、これからは平和利用することを前提に科学技術を発達させるべきだと思いました。



環境省地球環境局にて

魚の生態と食中毒の関わり

山本 祐貴

3年10組 文京区立第十中学校出身

前期科学倫理では、「環境」のテーマをベースとし、魚の生態や食中毒の原因を研究しました。実際に築地市場を訪れ、職場で働いている方々にインタビューをしてきました。インタビューした内容の内、一番印象に残っているのは、魚に潜んでいる微生物による食中毒の人間への感染で、微生物の種類によって対処方が異なり、単に良く焼くだけでは細菌を殺せないという事実を知りました。また、海外から輸入した魚の危険性や細菌の予防対策等、自分達が身近で出来るような事まで教わりました。その後、築地の各場所での仕事内容や、どのような機能を果たしているのかを一つ一つ見学し、築地の役割を直に知る事が出来る良い体験となりました。今後の活動としては発表の準備に備えて、現在の魚の実態を詳しく調べ、築地での体験で学んだ知識と照らし合わせながら、そこに食中毒の原因となる微生物との関わりを持たせて、リンクさせようと思います。



授業の様子(グループ発表の準備)

新しい命に対する責任

横打 真琴

3年10組 足立区立第十一中学校出身

7月から少数班に分かれて科学倫理に取り組むにあたって、私は倫理問題が発生する源となる“生命の誕生”について考えていくことにしました。

調べてみると人工受精や着床前診断など他にも様々な問題があることを知りました。そして夏に東海大学病院の産婦人科の先生を訪ねてお話を聞くことが出来ました。例えば人工受精では、人工受精、体外受精、顕微受精と段階があり進むほど人の手が加わるそうですが、不妊症外来を訪れる多くの夫婦が人工授精までは抵抗が無く治療を受けていくそうです。また着床前診断は日本では特定の条件下の人のみ許されていますが、基準は国によって様々なのが現状だそうです。

これらの問題に対して私なりに考えを出そうとしましたが、考える立場が変われば意見も変わってしまい纏まりませんでした。しかし、生命の誕生に関する技術について私は、よく考え使用し使用後も責任と自信を持っていられることが重要なのだらうと思います。



東海大学医学部の遺伝子工学実験動物研究センターにて

中等部のコーナー

『写生大会』

東京タワーが目の前にそびえる芝公園。9月21日、中等部の生徒たちは教室とは違った自然のなか、朝から晴れ晴れとした笑顔で集合しました。同じ対象物を描いても、一つひとつその子らしさの見える味わい深いものとなっていました。友達と楽しくおしゃべりしながらも、絵を描くその目は真剣そのものでした。

中等部は4月からこれまで、オリエンテーション合宿や校外活動、水泳実習などさまざまな行事を経てきました。前期最後の行事である写生大会を生徒全員で伸び伸びと、そして真剣に取り組んでいました。後期はさらに成長してくれることを期待しています。

熱の中での写生大会

屋代 優之介

1年A組 足立区立皿沼小学校出身

僕は写生大会で、東京タワーの絵を描きました。理由は簡単そうだったからです。しかし、描き始めてみると東京タワーは思ったよりも難しかったです。例えば、東京タワーの上部の輪のようなものを立体的に描くのは大変でした。また東京タワーの下部も網目状になっていて難しく、うまく描けませんでした。実はこの日、僕は熱が出ていて体調が悪かったのですが、友達と楽しく過ごせたと、自分なりに良い絵が描けたのでよかったと思います。

東京タワーのある風景

鈴木 あき

1年B組 港区立高輪台小学校出身

私は写生大会の時、東京タワーと風景をどのように描くか悩みました。なぜなら、私はあまり東京タワーをメインには描きたくなかったからです。東京タワーとまわりの風景が一体になっていた方が良いと思ったのです。そこで、私は東京タワーを中心から少しずらして描くということを思いつきました。うまく周りの風景となじませることができたかはわかりませんが、とても楽しく描けたのでよかったです。



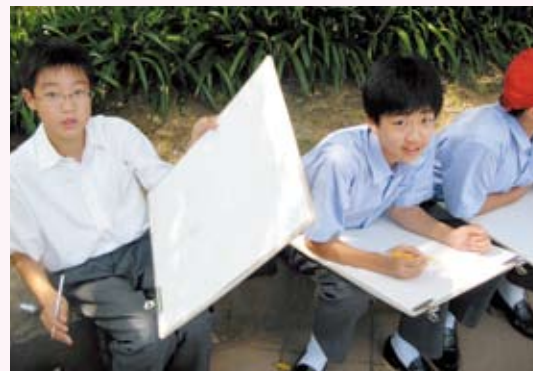
美術の先生のアドバイスを参考にがんばろう



日かげで涼しく描いています



じっくり見て描かなくちゃ!



こんな風に描けましたよ

お知らせ

ベストティーチャー・タイプA候補決まる

5月24日、7月12日に「生徒による授業評価アンケート」を行いました。その結果、今年度のベストティーチャー・タイプAに8名の先生方が候補として決まりました。保護者の皆様には11月15・16日の「一斉公開授業」をはじめ、11月22日までのご都合の良い日に来校の上、8名の先生方の授業をご覧ください、保護者による「授業評価アンケート」にご協力をお願いいたします。

【2007年度ベストティーチャー・タイプA候補一覧】(教科順)

教員名	教科	担当学年
伊藤 明	国語科	高1年
数馬 大介	国語科	高2年
東出 葉月	国語科	中1年
高橋 光太	数学科	高3年
森 公法	数学科	中1年
石井 良	理科	中1年
鶴岡 薫	芸術科	中1・高2年
小松原洋行	英語科	中1・高1年

※付記

過年度ベストティーチャータイプAの受賞者は規約により、受賞後3年間は候補より除外されています。

2004年度：神田・宮島・吉川

2005年度：関根・米谷・川島

2006年度：今井・田中亨・山口

※授業時間は担任または学校にお問い合わせください。「一斉公開授業」の時間割は後日お知らせいたします。

行事予定

November // 月

- 1日(木) 学園建学65周年記念式典(休業日)
- 2日(金) 創立64周年記念式典、朝礼
- 3日(土) 文化の日
- 5日(月) 付属推薦合格発表手続期間(高3)
- 8日(木) 生徒会立会演説会(7限目)
- 9日(金) 後援会湘南校舎見学研修会
- 10日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)
- 13日(火) 金曜日の授業
- 15日(木) 一斉公開授業
- 16日(金) 一斉公開授業
- 17日(土) 東海大学付属推薦者保護者会(高3)、保護者会(高1)
全日本吹奏楽コンクール金賞受賞記念演奏会・祝賀会
- 18日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 21日(水) 専門医によるカウンセリング
- 22日(木) 校医相談日、マナー講習会(中)
- 23日(金) 勤労感謝の日
- 24日(土) スポーツ大会(高3、アリーナ)
- 29日(木) 生徒による授業評価アンケート

December 12月

- 1日(土) 後援会委員総会
- 3日(月) 朝礼
- 4日(火) 後期中間試験(中等部 5日まで、高1、2 7日まで)
卒業試験(高3 7日まで)
- 6日(木) スポーツ大会(午前)(中等部 アリーナ、午後授業)
- 7日(金) 校外行事(中等部)
- 8日(土) 受験生・保護者学校説明見学会(中等部、10:00)
- 9日(日) 受験生・保護者学校説明見学会(高校、10:00)
- 10日(月) 自宅学習日(高3)
- 11日(火) 答案返却日(高3)
- 12日(水) 特別講座開始(高3、1月31日まで)
専門医によるカウンセリング
- 20日(木) 校医相談日
- 21日(金) 冬季休暇前諸注意、大掃除(7時限目)
- 22日(土) 冬季講習(28日まで)
- 23日(日) 天皇誕生日
- 24日(月) 振替休日、吹奏楽部第18回定期演奏会(ミュージア川崎)
- 25日(火) 吹奏楽部第18回定期演奏会(ミュージア川崎)
- 28日(金) カナダ中期留学(2月25日まで)
- 29日(土) 年末年始休暇(1月5日まで)

建学祭のスナップ



編集後記

猛暑の影響で紅葉が遅れているところに、ゴア前米大統領とIPCC(気候変動に関する政府間パネル)にノーベル平和賞授賞のニュースが伝えられた。アル・ゴア氏といえば、2000年の大統領選でブッシュ大統領に僅差で敗れた後、映画「不都合な真実」で地球温暖化防止を訴えアカデミー賞に選ばれたことで知られる。「地球温暖化は世界平和を脅かす」と警告を発するゴア氏とIPCCにノーベル平和賞が贈られることは、温暖化問題の深刻さと切実さを示している。今月号で紹介したSSHクラスの「科学倫理」では、生徒達がこの問題に取り組む。(か)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>